

1学期最後の全校朝会で、本校の事務主事の今田明花先生に「戦国武将と鎧かぶと」という内容で講話をお願いしました。今田先生は、ご自身が小学生の時に歴史の学習が発端で、戦国武将について詳しく調べられ、今でいう「^{れきじょ}歴女」レベルの知識を身に付けておられます。先日そのことを知った私は、早速子どもたちの前で話して下さることをお願いしました。



今田先生の戦国武将と鎧の話はとても興味深く、「なるほど、そうだったのか。」の連発でした。今田先生は、小学校での勉強がきっかけで、自分が興味を持った世界をどんどん広げられ、人に話が出来るくらい詳しい知識を身に付けられたのです。神石小の求める子ども像の1つ「かしこい子」の具体の中には、「知識をひたむきに求める子」と言うのがありますが、今田先生は、その子そのものだと思いました。子どもたちが学校を離れている夏休みだからこそ、「知りたい」と言う気持ちを大切に、これまで何度も話してきた神石小のめざす子ども像、「かしこい子」・「たくましい子」・「さわやかな子」が、ご家庭でも実践できるよう支援してください。お家や地域でできてこそ、本物の神石っ子に近づいていると言えるのではないのでしょうか。

8月29日の2学期始業式には、元気で、そして一段と成長した子どもたちと会えるのを楽しみにしています。

校長 爲平 祐嗣